

## 各対策の前期5年進捗状況及び後期5年の予定

	ハード対策(洪水処理施設等の整備と維持管理)
	ハード及びソフト対策(流出抑制対策)
	ソフト対策(浸水被害軽減の対策)

	対策済
	実施中
	継続実施

	高塚川流域の総合的な浸水対策	実施期間		P.
		5年	10年	
a	馬込川の改修	→	→	1
b	高塚川の改修(河床掘削)	→		2
d	高塚川の改修(ポンプ増強)	→	→	2
g	高塚川の維持(浚渫、草刈、藻の除去)	→	→	2
c	田尻排水機場の更新	→		3
h	道路側溝土砂の収集・処理	→	→	4
i	排水機場の運転ルールの方策、適切な維持管理	→	→	5
j	水源転換と逆流防止施設の設置	→	→	6
e	貯留施設整備(下水道施設)	→		7
f	貯留施設整備(校庭貯留)	→		8
f	貯留施設整備(公園貯留)	→		9
k	市街化調整区域における集落制度に関する開発許可制度の運用基準の見直し	→	→	10
l	水田貯留	→	→	11
m	地域防災力の向上(出前講座・避難訓練)	→	→	12
n	土のうステーション事業	→	→	13
o	緊急時のポンプによる排水	→	→	14
p	河川カメラ・水位計の増設・公開	→	→	15
r	風水害時の道路情報等を市民へ公開	→	→	15
q	高塚川の避難に関する情報提供	→	→	16

# a 馬込川の改修 ・ 維持浚渫

項目	ハード対策	担当機関	静岡県 浜松土木事務所
	流下能力の向上、維持管理		

## 【対策の内容等】

馬込川河口から高塚川合流地点までの約3km区間において、馬込川の流下能力向上のための河床掘削を実施し、高塚川からの自然排水時間と排水量の増加を図る。

## 【進捗状況 (H28~R2)】

全体 V=567,100m<sup>3</sup> (河床掘削量)

H28: 業務委託、 H29: V=10,800m<sup>3</sup>

H30: V=19,000m<sup>3</sup>、 R1: V=7,300m<sup>3</sup>

R2: V=15,000m<sup>3</sup> (予定)

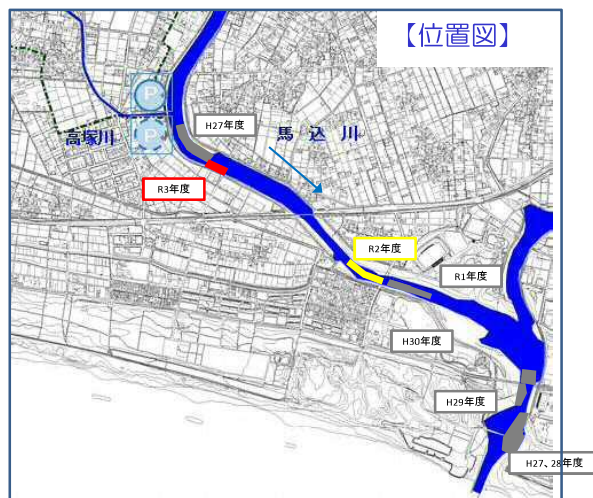
## 【今後の予定 (R3~R7)】

全体 V=515,000m<sup>3</sup> (河床掘削量)

R3: V=107,000m<sup>3</sup>、 R4: V=102,000m<sup>3</sup>

R5: V=102,000m<sup>3</sup>、 R6: V=102,000m<sup>3</sup>

R7: V=102,000m<sup>3</sup> (完了予定)



## 【事業スケジュール】

項目	計画	前期5年					後期5年		進捗
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度～令和7年度		
維持工事	河床掘削 V=7,000m <sup>3</sup>								9.2% 24,100 517,100 単位:m <sup>3</sup>
	河床掘削 V=5,500m <sup>3</sup>								
改修工事	改修工事								
	河床掘削 V=10,800m <sup>3</sup>								
	河床掘削 V=19,000m <sup>3</sup>								

## 【課題と対応】

- 馬込川河口部では12月～4月間にシラスウナギ漁が行われるため、工事に伴い発生する濁水に特に配慮する必要があるが、工事の実施時期等が制限されるが、関係者と十分に情報交換し効率良く工事を実施していく。

平成29年度 浚渫実施状況



平成30年度 浚渫実施状況



令和1年度 浚渫実施状況



今後の予定箇所



# b、d、g 高塚川の改修(河床掘削・ポンプ増強)・維持

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 河川課、南土木整備事務所
	洪水処理施設の整備と維持管理		浜松市 農地整備課

## 【対策の内容等】

河床掘削を行うことにより、河川断面を拡幅して流下能力の向上を図る。

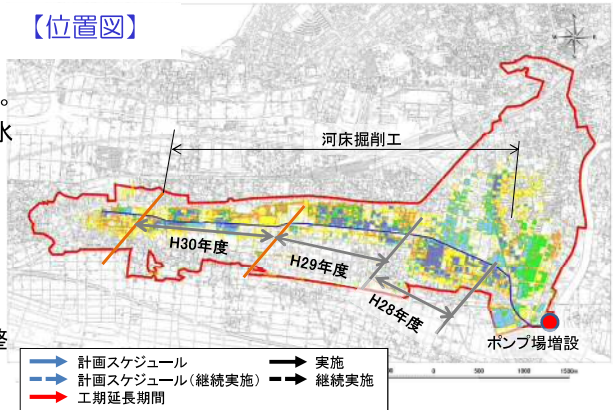
高塚川の河川改修計画を検討すると共に、準用河川に指定する。

馬込川合流点に排水機場を増設することで、高塚川のポンプ排水能力を増強し、排水能力の向上を図る。

## 【進捗状況 (H28~R2)】

- b. H28・H29・H30: 3ヶ年で高塚川河床掘削工事は完了  
H28~R2: 準用河川の指定に向けたポンプ概略設計及び河川改修計画の作成及び関係機関との調整  
準用指定にむけた法令整理及び財産移管等の調整
- d. R1~R2 ポンプ概略設計
- g. H28~R2: 治水上支障がある場合は、**【事業スケジュール】**

## 【位置図】



除草工を実施

## 【今後の予定 (R3~R7)】

- b. 河床掘削は、現時点で予定なし
- d. R4: ポンプ実施設計  
R5~R7: ポンプ場設置工事
- g. 適宜、除草工事を実施

## 【課題と対応】

現時点では特に無し。

項目	進捗	前期5年					進捗
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
b. 高塚川の改修(河床掘削)	計画	河床掘削					H30末/全体延長4,260m/4,200m(100%)
	進捗	河床掘削工事(L=1000m, V=1,100m³)	河床掘削工事(L=700m)	河床掘削工事(L=2,500m)			
改修計画検討準用河川指定	計画	改修計画検討、準用河川指定					
	進捗		準用河川指定に向けた調整				
d. 高塚川の改修(ポンプの増強)	計画	調整・委託設計・用地取得		ポンプ概略設計		ポンプ増強工事	
	進捗	高塚川改修計画との調整					
g. 高塚川の維持(浅瀬、草刈、藻の除去)	計画	状況に応じて実施					
	進捗	水草・藻の除去(A=5,500m²)	除草工適宜実施	除草工L=4,370m	除草工適宜実施		

平成28年度～平成30年度 河床掘削実施状況



平成29年度 河床掘削実施状況



令和元年度 排水路浚渫実施状況



令和元年度 除草及び維持管理 実施状況



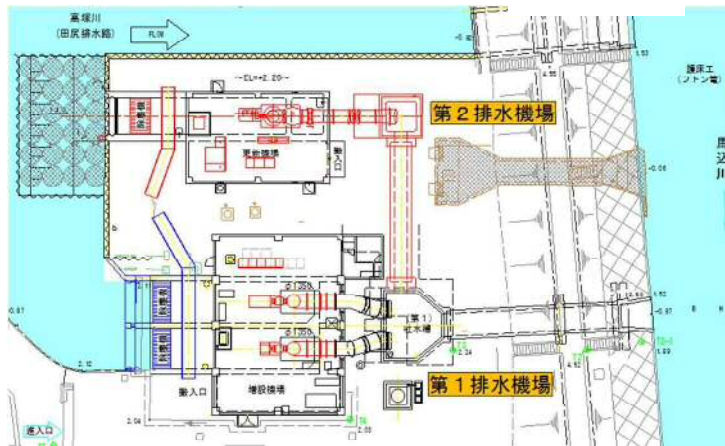
# c 田尻排水機場の更新

項目	ハード対策	担当機関	静岡県 西部農林事務所
	流下能力の向上		

## 【対策の内容等】

第2排水機場のポンプ設備を全面更新し、第1排水機場のポンプ設備を分解整備や劣化部品の交換・調整を行い、排水能力の回復を図る。

## 【平面図】



## 【進捗状況 (H28~R2)】

区分	第1排水機場	第2排水機場
H28	—	上屋撤去 1棟 ポンプ撤去 1式
H29	—	機場下部工撤去 1箇所 樋管撤去 1箇所
H30	—	機場下部工 1箇所
R1	—	上屋工 1棟 ポンプ・電気設備 1式 除塵機 1箇所
R2	ポンプ修繕 1式 電機設備 1式	ポンプ・電気設備 1式 除塵機 1箇所 吐水槽 1箇所

## 【今後の予定 (R3~R7)】

区分	第1排水機場	第2排水機場
R3	ポンプ修繕 1式 電機設備更新 1式 除塵機更新 1箇所 場内整備 1式	—

## 【課題と対応】

第2排水機場は令和2年度末の稼働を目指している。しかし第1排水機場の「排水設備の機能回復」は、11月から3月の非出水期も排水ポンプを最低1台稼働出来るよう工事を調整する必要があり、第2排水機場が完成してから第1排水機場のポンプ設備を修繕する工程のため、排水設備の機能回復は令和3年度に完了する見込みである。

そこで、修繕が完了するまで、3台のポンプを効率よく稼働させ、現況施設で最大限の排水が出来るよう対応する。

## 【事業スケジュール】

計画	前期5年					後期5年 ～令和7年	進捗
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度		
設備設計	→	→	→	→	→		
工事		→	→	→	→		
進捗	【第2排水機場】 ・上屋撤去 ・ポンプ設備撤去	【第2排水機場】 ・機場下部工撤去 ・樋管工	【第2排水機場】 ・上屋建築 ・ポンプ・電気設備 ・除塵機設備 ・吐水工	【第2排水機場】 ・ポンプ・電気設備 ・除塵機設備 ・吐水工	【第2排水機場】 ・ポンプ・電気設備 ・除塵機設備 ・吐水工	令和3年度 【第1排水機場】 ・ポンプ設備補修 ・電機設備更新 ・除塵機更新 ・場内整備	63%

## 【令和2年度実施状況】



第2排水機場 ポンプ設備

## 【令和2年度実施状況】



第2排水機場 上屋工及び吐水槽

## 【今後の予定箇所】



第1排水機場 ポンプ修繕・電気設備更新

## 【今後の予定箇所】



第1排水機場 除塵機更新

# h道路側溝土砂の収集・処理

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 道路保全課
	流下能力の向上		

## 【対策の内容等】

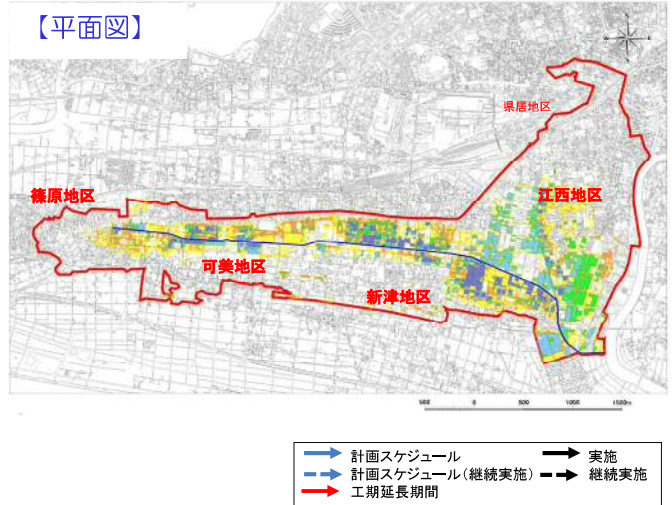
「みんなで住みよききれいな町」をつくるため、市民との協働による道路側溝清掃の実施に伴い発生する側溝内の土砂等を、計画的に収集・処理する。

## 【H29～R2年度実績】

新津・可美・江西地区の各自治会が年1回程度実施する側溝清掃に伴い発生した土砂等の収集を実施。

## ○活動実績表(kg) 過去合計=120,450(kg)

	新津地区	可美地区	江西地区	合計
H28	18,640	8,370	1,400	28,410
H29	13,850	3,870	1,360	19,080
H30	5,710	2,810	710	9,230
R01	26,890	9,340	990	37,220
R02	21,780	3,540	1,190	26,510
計	86,870	27,930	5,650	120,450



## 【今後の予定(R3～R7)】

引き続き、新津・可美・江西地区にて側溝清掃を自治会に依頼を行い、V≒15,000kg/年程度の土砂を収集予定。

## 【実施上の課題と対応】

地域住民による側溝清掃を行う範囲が減少傾向にあるため、継続的な清掃活動を実施するための啓発、PR等の強化が必要。

## 【事業スケジュール】

計画	平成28年度	平成29年度	前期5年		令和1年度	令和2年度	後期5年		進捗
			平成30年度				～令和7年		
計画									
進捗	可美・新津地区の土砂収集実施	可美・新津地区の土砂収集実施	可美・新津地区の土砂収集実施	可美・新津地区の土砂収集実施	可美・新津地区の土砂収集実施	可美・新津地区の土砂収集実施			

平成29年度実施状況(運搬)



平成30年度実施状況(運搬)



令和元年度実施状況



令和元年度実施状況



# i 排水機場の運転ルール策定、適切な維持管理

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	維持管理等		

## 【対策の内容等】

農業排水機場の排水効果を発揮するための運転ルール及び管理方法の策定、実施。  
排水機場の管理人・運転人の負担軽減を図るため、塵芥移動支援業務を委託する。  
各排水機場の巡回(運転支援)を排水機場の機能に精通している業者へ委託する。

## 【進捗状況 (H28~R2)】

- 適正な運転ルールの運用
  - 塵芥移動支援業務の委託発注
  - 運転支援業務の委託発注
- 実績 集中豪雨 (R1. 7. 22)  
台風19号 (R1. 10. 12)

## 【事業スケジュール】

項目		前期5年					後期5年		進捗
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	～令和7年		
運転ルール	計画	ルール策定・運用							
	進捗	運転ルールの策定 洪水時前の事前排水の施行	運転ルールの運用	運転ルールの運用	運転ルールの運用	運転ルールの運用			
維持管理	計画		塵芥処理支援業務委託・運転支援業務委託の発注						
	進捗	塵芥移動支援業務を委託発注	塵芥移動支援業務の実施 運転支援業務の実施	塵芥移動支援業務の実施 運転支援業務の実施	塵芥移動支援業務の実施 運転支援業務の実施	塵芥移動支援業務の実施 運転支援業務の実施	塵芥移動支援業務の実施 運転支援業務の実施		

## 【R2年度実施予定内容】

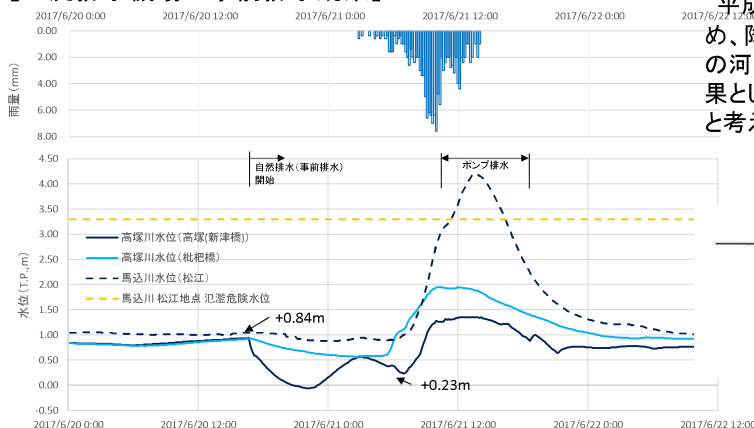
- 適正な運転ルールの運用
- 塵芥移動支援業務の委託発注
- 運転支援業務の委託発注

## 【実施上の課題と対応】

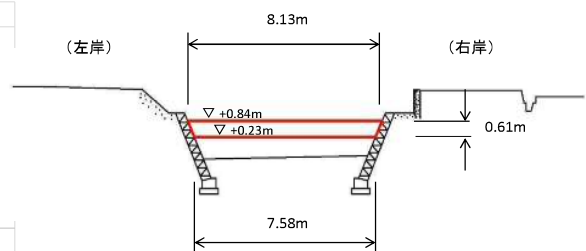
効果的な排水方法の検討



## 【田尻排水機場の事前排水効果】



平成29年6月21日降雨では、事前に降雨が予想されたため、降雨前に高塚川河口部の樋門を全開する事で高塚川の河道水位を低下させた。河道内での事前排水による効果としては、**※約20,000m<sup>3</sup>程度の貯留量**を確保できていたと考えられる。



新津橋 下流 横断面図

# j 水源転換と逆流防止施設の設置

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	維持管理等		浜松市 河川課

## 【対策の内容等】

### ＜水源転換＞

水田への取水方法を、高塚川から取水する方法から、水路整備等を行い他の水源からの取水方法に転換する。

### ＜逆流防止施設の整備＞

水源転換により、高塚川は治水機能のみとなることから、逆流防止施設を整備し、住宅地へ高塚川の水が逆流しないよう防止を図る。

## 【進捗状況（H28～R2）】

### ＜水源転換＞

	神田ブロック	法枝ブロック	若林ブロック
H28		調査検討 L=2,000m	
H29	測量・設計L=560m 工事L=10m(新設) L=750m(補修)	-	-
H30	路線計画L=1,240m 測量・設計L=840m 工事L=50m	-	-
R1	工事L=440m	路線計画L=1,920m 測量・設計L=920m	-
R2	工事L=70m	変更設計 1式 工事L=110m	-

## 【今後の予定（R3～R7）】

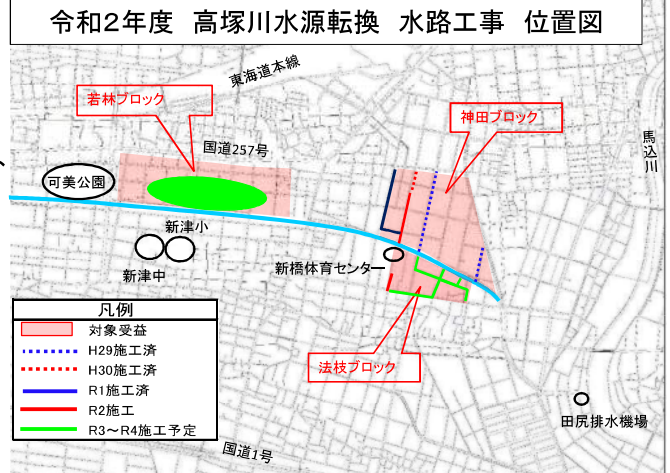
### ＜水源転換＞

R3～R4概要：水路工L=720m、若林ブロック内

### 【課題と対応】

用水補償  
・若林ブロック内の用水補償に関する地元調整と高塚川の水位低下に伴う水田の漏水規模検証

## 【位置図】



## 【事業スケジュール】

項目	当初5ヵ年					進捗
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
水源転換	計画 調査検討	調査検討	測量設計 工事	測量・設計L=950m 工事 L=2,110m	路線計画L=1,240m 測量・設計L=840m 工事 L=50m	70%
	進捗	調査検討 L=2,000m	測量・設計L=560m 工事L=10m(新設) L=750m(補修)	路線計画L=1,240m 測量・設計L=840m 工事 L=50m	路線計画L=1,920m 測量・設計L=920m 工事 L=440m	
逆流防止施設 の整備	計画		調査検討	工事		
	進捗		調査検討			

令和元年度実施状況



令和2年度現在状況(逆流防止施設)



令和2年度実施状況



今後の予定(逆流防止施設)



# e 貯留施設整備(下水道施設)

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 下水道工事課
	流出抑制		浜松市 南土木整備事務所

## 【対策の内容等】

広域避難地である可美公園や、避難所である可美中学校を含む市街地(A=約19ha)の雨水を一時的に貯留するために、可美公園多目的広場地下に雨水調整池(V=10,000m<sup>3</sup>)及び流入水路を整備する。

## 【平面図】



## 【進捗状況 (H28~R2)】

全体 V=10,000m<sup>3</sup> (雨水調整池容量)

H28 ~ H30 : 雨水調整池整備

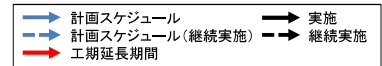
H29 ~ H30 : 流入水路整備

R1 ~ : 運用開始

## 【今後の予定 (R3~R7)】

R3~R7 : 引き続き、維持管理を行う。  
(南土木整備事務所)

## 【事業スケジュール】



	前期5年			令和1年度	令和2年度	後期5年		進捗
	平成28年度	平成29年度	平成30年度			~令和7年		
計画	雨水調整池整備	流入水路整備						100%
進捗	雨水調整池整備	流入水路整備						

## 【課題と対応】

特になし。

平成30年度 実施状況



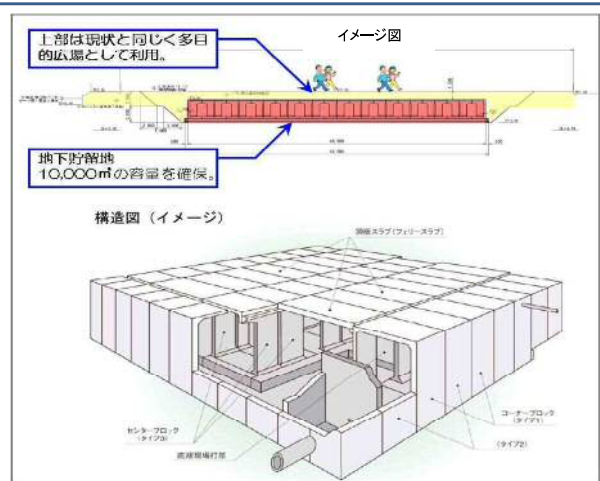
平成30年度 実施状況



令和元年度 完成状況



多目的広場の上部状況





# f 貯留施設整備(校庭貯留)

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 教育施設課
	流出抑制		

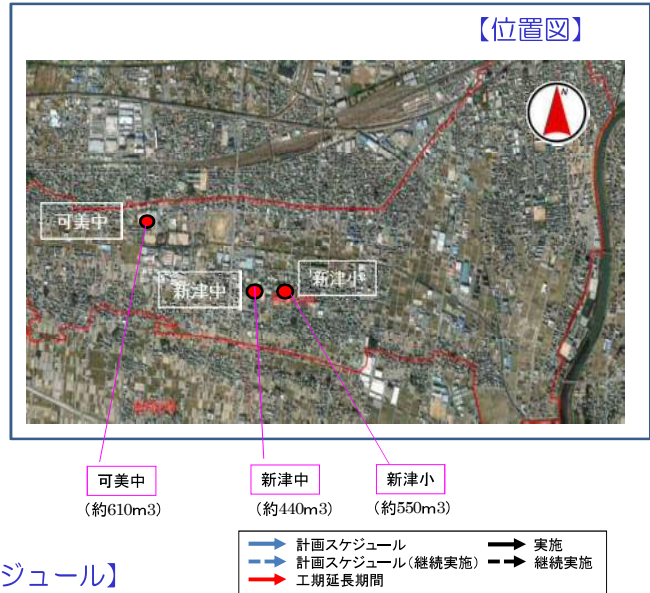
## 【対策の内容等】

学校グラウンドを利用し、学校からの雨水流出を抑制する施設を整備する。(新津小・新津中・可美中)

## 【進捗状況 (H28~R2)】

	可美中	新津中	新津小
H28	各校へ事業説明		
H29	測量及び実施設計		
H30	—	—	整備工事
R01	—	整備工事	—
R02	整備工事	—	—

## 【位置図】



## 【今後の予定 (R3~R7)】

なし (R2で整備工事は完了)

## 【事業スケジュール】

	前期5年					後期5年	進捗
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	～令和7年	
計画		測量・設計	工事				100%
進捗	対象校へ事業説明	測量 L=0.41km 雨水貯留施設 3ヶ所	新津小学校 校庭貯留施設整備 工事	新津中学校 校庭貯留施設整備 工事	可美中学校 校庭貯留施設整備 工事		3/3校

## 【課題と対応】

現時点では特になし

## 平成30年度実施状況



平成30年度施工箇所 (新津小学校)

## 令和元年度実施状況



令和元年度施工箇所 (新津中学校)

## 令和2年度実施状況



令和2年度施工箇所 (可美中学校)

## 令和2年度実施状況



令和2年度施工箇所 (可美中学校)

# f 貯留施設整備(公園貯留)

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 公園管理事務所
	流出抑制		

## 【対策の内容等】

公園内の駐車場やグラウンドを利用し、公園内に降った雨を貯留して流出を抑制する施設を整備する。

## 【平面図】



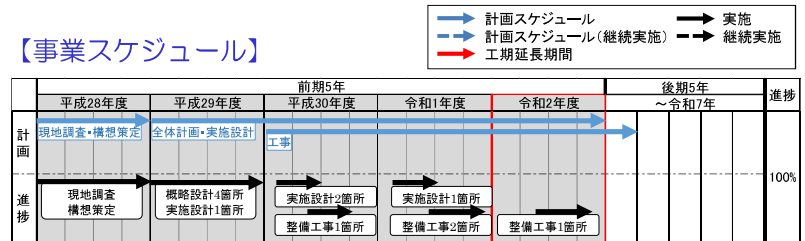
## 【進捗状況 (H28~R2)】

	庭球場	野球場	中央駐車場	東駐車場
H28	現地調査及び構想策定			
H29	全体概略設計			
	—	実施設計	—	
H30	実施設計	整備工事	実施設計	—
R01	整備工事	—	整備工事	実施設計
R02	—	—	—	整備工事

## 【今後の予定 (R3~R7)】

なし (R2で整備工事は完了)

## 【事業スケジュール】



## 【実施上の課題と対応】

機能を維持するための施設管理を継続して行う。

平成30年度 実施状況(野球場)



令和元年度 実施状況(庭球場)



令和2年度 実施状況(サッカー場)

工事完了時に貼付

令和2年度 実施状況(東駐車場)

工事完了時に貼付

# k 市街化調整区域における集落制度に関する開発許可制度の運用基準の見直し

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 土地政策課
	流出抑制対策		

## 【対策の内容等】

コンパクトシティ実現化に向けて市域全体の土地利用方針を策定し、郊外地における保全と開発のあり方について検討する。また、現行の集落制度に関する区域・用途等の基準の見直しを行い、湛水域の宅地化の抑制を図る。

## 【進捗状況 (H28~R2)】

上位計画(都市マス)の見直しとの整合を図りながら引き続き見直し(案)について協議調整を行った。

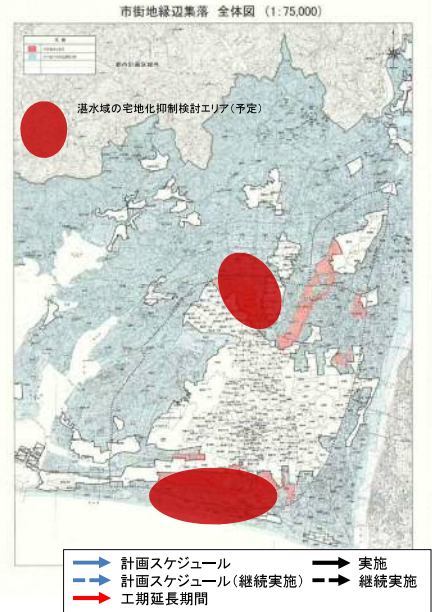
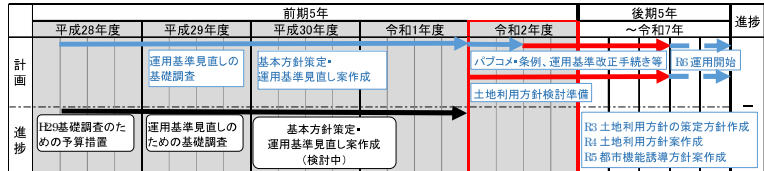
## 【今後の予定 (R3~R7)】

- ・土地利用方針策定に向け、今年度は土地利用方針の検討準備を行う。
- ・「安全なまちづくり」を推進するため、都市計画法の一部改正が可決、成立した。法改正に伴う開発許可の厳格化についても同時に検討していく。  
(法改正後2年以内で施行の予定)

## 【実施上の課題と対応】

- ・上位計画や各施策等と整合し、適切な規制誘導による適正な土地利用が図られるよう関係部署との協議調整を行っていく。
- ・都市計画法他が改正されたことを踏まえ、災害ハザードエリアにおける開発の抑制について関係部署との協議調整が必要。

## 【事業スケジュール】



# I 水田貯留

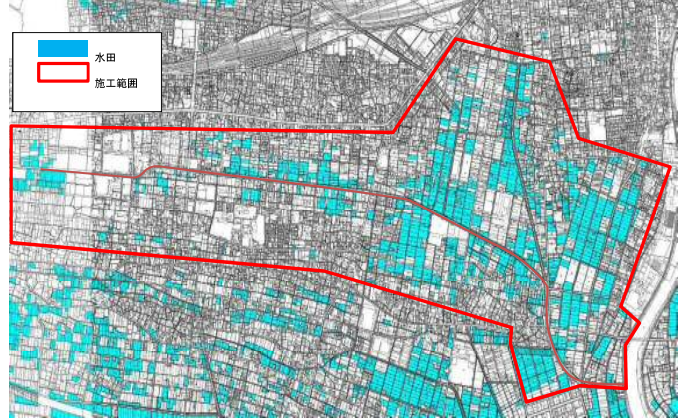
項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	流出抑制		

## 【対策の内容等】

水田の排水口に堰板設置等の改良を行い、雨水の流出時間を遅らせ、流出を抑制する。

水田での湛水を許容し、農地保全や畦畔の再構築、流出抑制対応の協力を依頼する。

## 【位置図】



## 【進捗状況 (H28~R2)】

H28	調査検討 (水田貯留能力)
H29	調査検討 地元調整
H30	調査検討 地元調整
R1	実現可能性調整
R2	水田貯留検討業務委託 (実証実験)

## 【今後の予定 (R3~R7)】

実証実験結果に基づく地元調整の実施

## 【課題と対応】

- ・ 農業者の協力と効果の検証
- ・ 水田貯留に協力してくれる農業者への協力金等資金的な援助制度の創設

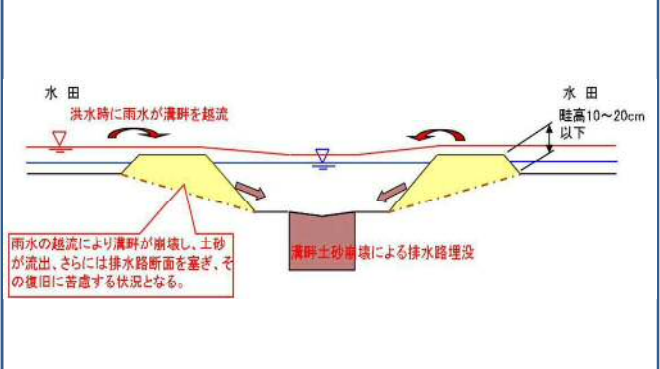
## 【事業スケジュール】

	前期5年					後期5年		進捗
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	～令和7年		
計画	現地調査・地元調整			工事				
進捗	調査検討 (水田貯留能力)	調査検討・地元調整	調査検討・地元調整	実現可能性検証	水田貯留検討業務委託 (実証実験)			

## 水田貯留イメージ図



## 水田貯留の問題点(イメージ図)



## 令和2年度実施状況



## 水田貯留の問題点(他地区洪水時越流状況)



# m 地域防災力の向上（出前講座・避難訓練）

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 南区・区振興課／危機管理課
	意識啓発		浜松市 河川課

## 【対策の内容等】

風水害・避難行動についての出前講座、避難訓練等を実施し地域防災力の向上を図り、人的被害・物的被害の軽減を目指す。

## 【進捗状況（H28～R2）】

### ➤ 出前講座を41回実施（南区・区振興課）（災害時の事前準備、情報収集、避難に関する事等）

H28： 4回（米津町自治会、新津地区社会福祉協議会、南陽中学校、東部中学校）

H29： 4回（白羽町自治会、河輪小学校、江南中学校、東陽中学校）

H30： 13回（江ノ島荘×5回、ハローこども園、飯田幼稚園、可美幼稚園、新津中学校、白羽町自治会、寺脇町自治会、三新町いきいきサロン、浜松市公園緑地協会）

R1： 20回（江之島荘×5回、南陽協働センター、石原町自治会、可美保育園×2回、新津小学校、白羽町防災まちづくり隊×2回、寺脇町自治会、南の星小学校、芳川町神出自主防災隊、緑化推進センター、サロン青空、新津中学校、本郷町東自主防災隊、東陽中学校）

R2： 11回（南区地区防災班員研修会×2回、総合防災訓練南区本部会議、寺脇町自治会、ふれあい交流センター江之島×4回、白羽町自治会、江南中学校、浜松江之島高校）

### ➤ 出前講座を2回実施（河川課）

R1： 2回（新津小学校、可美小学校）

## 【R3年度以降実施予定内容】

引き続き出前講座を開催する予定

## 【事業スケジュール】

計画	平成28年度	平成29年度	前期5年 平成30年度	令和1年度	令和2年度	後期5年 ～令和7年	進捗
	出前講座		風水害の避難訓練				
進捗	出前講座を4回実施	出前講座を4回実施	出前講座を13回実施	出前講座を20回実施	出前講座を11回実施		-

## 【実施上の課題と対応】

南区では地震津波に対する関心が高く、出前講座も地震津波に関するものが求められる傾向であったが、近年南区内でも大規模な水害が発生しているため、区民の風水害に対する関心は高くなっている。引き続き、必要な防災（風水害）に関する知識や予防対策等を周知し、自助と共助の意識徹底と促進を図っていく。

避難訓練 実施状況



図上避難訓練 実施状況



出前講座状況



出前講座状況



# n 土のうステーション事業

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 河川課
	被害軽減		南土木整備事務所

## 【対策の内容等】

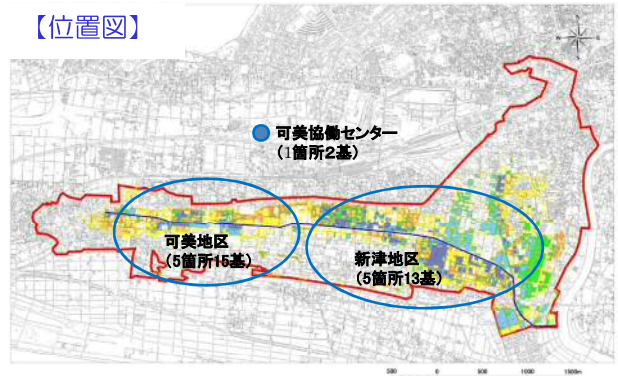
台風や大雨による浸水被害を軽減するために、市民の自助及び共助の活動支援として、「土のうステーション」を設置し、土のうを利用してもらい事前防災の大切さを市民に伝え、水防災意識の向上を図るもの。

## 【進捗状況 (H28~R2)】

土のうの補充袋数 **過去全体合計=9,499袋**

	可美地区	新津地区	可美協働センター	合計(袋)
H28	1,460	1,780	—	3,240
H29	580	720	200	1,500
H30	110	420	155	685
R01	565	1,087	1,311	2,963
R02	210	378	523	1,111
計	2,925	4,385	2,189	<b>9,499</b>

## 【位置図】



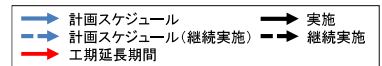
## 【今後の予定 (R3~R7)】

引き続き、必要に応じて設置した“土のうステーション”に“土のう”を補充していく。

## 【課題と対応】

今後、市民がより効果的に水害被害を軽減できるよう、事前防災の重要性について、引続き情報提供を行う必要がある。

## 【事業スケジュール】



計画	平成28年度	平成29年度	前期5年			後期5年			進捗
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
申請・設置	→	→							
土のう補充		→	→	→	→	→	→	→	
進捗	平成28年6月より運用開始	必要に応じた土のう補充	必要に応じた土のう補充	必要に応じた土のう補充	必要に応じた土のう補充	必要に応じた土のう補充	必要に応じた土のう補充	必要に応じた土のう補充	-

## 設置状況(可美協働センター)



## 保管庫内の状況



## 土のう作成状況



## 浜松南高校生が作成



# 緊急時のポンプによる排水

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 河川課、南土木整備事務所
	被害軽減		

## 【対策の内容等】

緊急時に内水被害を軽減するため、ポンプを設置し、強制排水を実施する。

## 【進捗状況 (H28~R2)】

H28~R2：災害協定に基づき、緊急時の内水対策として、工事用の水中ポンプを設置した。

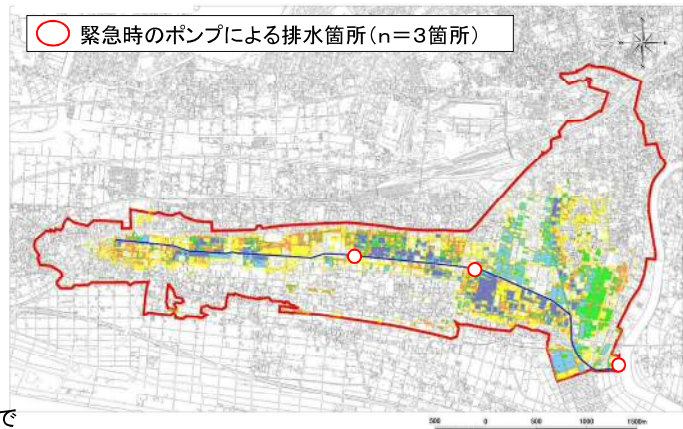
※業者への要請依頼実績 R2:0回、R1:1回、H30:1回

H28~R2：排水ポンプ車が必要となるような豪雨は、発生しなかったため、国土交通省への派遣要請は行わなかった。

## 【今後の予定 (R3~R7)】

引き続き、豪雨による被害が発生した際、速やかに現場対応できるように、国土交通省浜松河川国道事務所及び建設業協会と連携を密にとれるよう会議等で連携を図る。

## 【位置図】



## 【課題と対応】

現時点では特に無し。

## 【事業スケジュール】

	前期5年					後期5年		進捗
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度~令和7年度		
計画	随時実施							
進捗	設置位置の選定	出水時、必要に応じ対応	実施が必要となる豪雨無し	実施が必要となる豪雨無し	実施が必要となる豪雨無し			

→ 計画スケジュール  
→ 計画スケジュール(継続実施)  
→ 工期延長期間  
→ 実施  
→ 継続実施

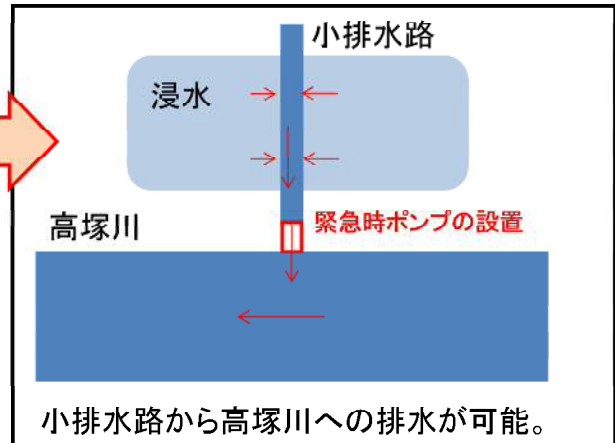
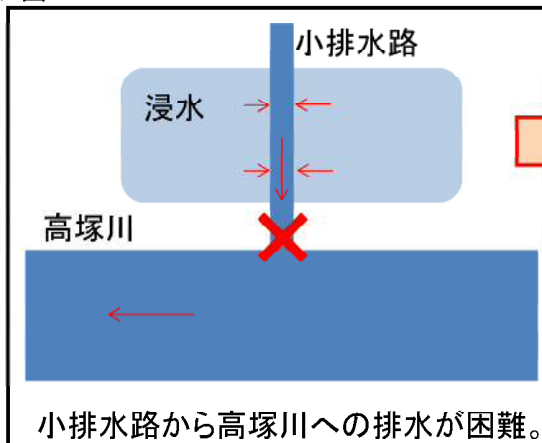
H27年9月の排水ポンプ車設置状況



国土交通省保有の排水ポンプ車



## イメージ図



# p 河川カメラ・水位計の増設・公開 r 風水害時の道路情報等を市民へ公開

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 河川課
	被害軽減		浜松市 危機管理課

## 【対策の内容等】

防災に関する情報をインターネット上に公開し、市民自身による判断材料とし、適切な浸水対策・避難行動に繋げる。

## 【進捗状況 (H28~R2)】

H28 河川カメラ及び水位計を1箇所増設 (全2箇所)  
 河川の水位状況が閲覧できる様に水位情報をホームページにて公開(浜松市土木防災情報システム)  
 道路の規制状況が閲覧できるシステムの構築  
 道路の規制状況をリアルタイムで閲覧できる様に道路情報をホームページにて公開(浜松市防災マップ)

H29~R2

システムによりホームページ内で公開中  
 ※昨年度台風19号実績として、  
 30万/日アクセスの実績があった。

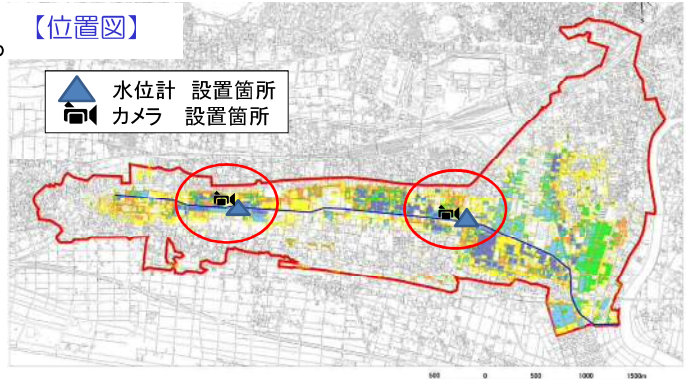
## 【今後の予定 (R3~R7)】

引き続き、会議や出前講座等の機会を活用し、画像の見方や活用方法を説明していく。

## 【課題と対応】

現時点では特に無し。

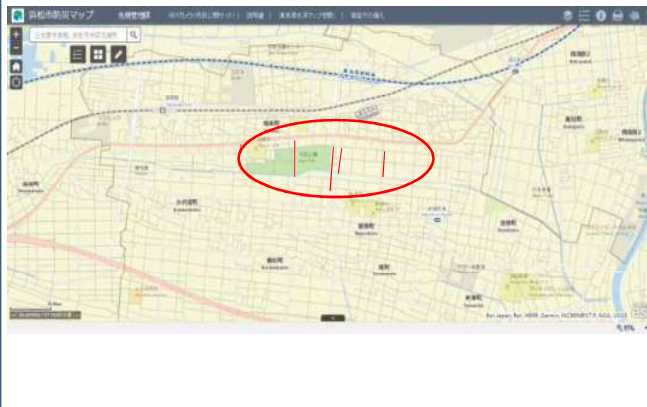
## 【位置図】



## 【事業スケジュール】

項目	計画	進捗	前期5年					後期5年 ~令和7年	進捗
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度		
p. 河川カメラ・水位計の増設・公開	システム構築	運用							
	河川カメラ1箇所、水位計1箇所の増設	浜松市土木防災情報システムの構築、運用開始							
r. 風水害時の道路情報等を市民へ公開	システム構築	運用							
	浜松市災害対応支援システム(道路情報)の構築	令和5月より道路情報の公開開始							

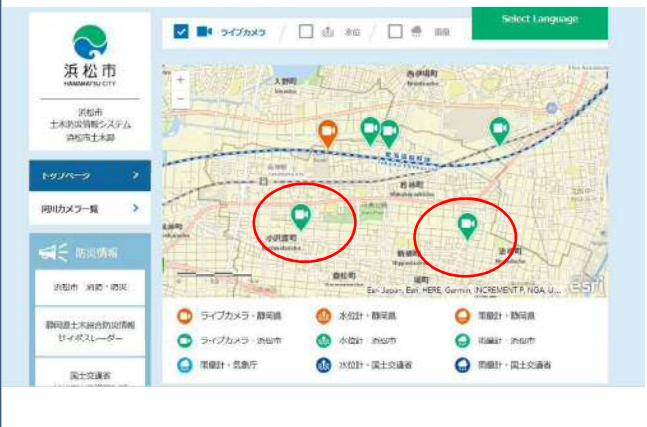
## 浜松市防災マップ(道路情報等)



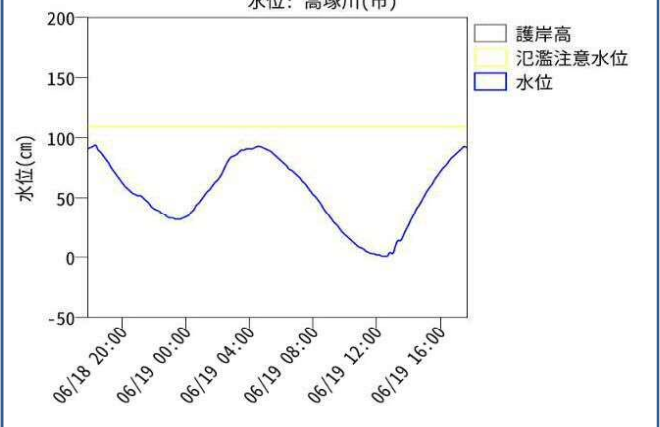
## 浜松市土木防災情報システム(河川カメラ)



## 浜松市土木防災情報システム(河川カメラ・水位・雨量)



## 浜松市土木防災情報システム(河川水位 高塚川)





# q 高塚川の避難に関する情報提供

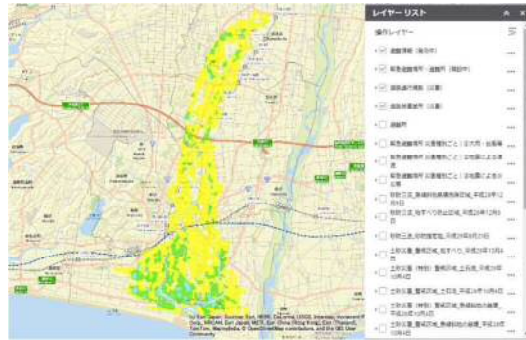
項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 危機管理課
	浸水被害軽減対策		浜松市 河川課

## 【対策の内容等】

市民の避難行動に関する情報として、浸水被害に基づく、ハザードマップの作成及び、高塚川の避難判断水位を設定し、住民へ周知・啓発する。

## 【進捗状況 (H28~R2)】

- H28 : 浸水想定区域、避難判断水位の設定
- H29 : ハザードマップの検討
- H30・R1 : ハザードマップの作成、市民公開
- R2 : 市民周知、啓発

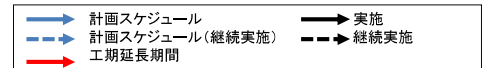


(浜松市防災マップ 市民公開画面)

## 【今後の予定 (R3~R7)】

市民への周知、啓発。

## 【事業スケジュール】



項目	計画	前期5年					後期5年		進捗
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	~令和7年		
ハザードマップ作成	計画	浸水想定区域の設定	ハザードマップの検討		ハザードマップの作成	ハザードマップの周知			
	進捗	浸水想定区域の設定	ハザードマップの検討		ハザードマップの作成、公開	ハザードマップの周知			
避難判断水位の設定	計画	基準の設定・運用							
	進捗	避難判断水位の設定	設定水位を基にした避難への運用		避難情報を発信する豪雨無し				

## 平成28年度実施状況：避難判断水位の設定

◎高塚川・堀留川の水位（内水氾濫）  
高塚川・堀留川では、「避難判断の目安となる水位」を市独自（内規）に設定、それぞれの観測所水位到達で河川周辺住民に対し、避難勧告等の発令を行う。

高塚川 水位観測所：高塚川			
内容	観測所水位	備考	
避難準備・高齢者等避難開始	1.50m	市独自指定	
避難勧告	1.80m	市独自指定	
避難指示（緊急）	2.00m	護岸高	

堀留川 水位観測所：堀留			
内容	観測所水位	備考	
避難準備・高齢者等避難開始	2.40m	市独自指定	
避難勧告	2.60m	市独自指定	
避難指示（緊急）	3.00m	護岸高	

浜松市 避難勧告等の判断・情報伝達マニュアル

## 平成30年度実施状況：浸水想定範囲



浜松市防災マップ H30市民公開画面

## 令和元年度実施状況：UD化



浜松市防災マップ R1市民公開画面

## 今後の予定：市民周知・啓発

